

検討の方向性			前回の委員の皆様からのご意見
コンセプト	施設面	運用面	
<p>自然の光と木のぬくもりを感じる</p> <p>明るく開放的な図書館</p>	<p>○入りやすい開放的な空間を整備(木目調等)</p> <p>○それぞれの利用に合った空間・閲覧席等の整備(静寂な空間・音や声のある空間・交流空間)</p> <p>○書庫の活用による新たな空間の創出</p> <p>○郷土資料調査室を入りやすい空間に整備</p>	<p>○時間で区切った空間の創出</p>	<p>○郷土資料調査室や池波正太郎文庫が入りにくい。</p> <p>○図書館の空間を「アート」という視点で考えると面白い。</p> <p>○ニーズが減ってきている視聴覚コーナーは縮小を検討してもよい。</p> <p>○視聴覚資料はカタログ化して、現物は書庫へ。その分空いたスペースを活用。</p> <p>○視聴覚ルームがあるといい。</p> <p>○書庫をうまく活用するといい。</p>
<p>「人」と「本・情報」をつなぐ</p> <p>誰もが利用しやすい図書館</p>	<p>○Wi-Fi環境の整備</p> <p>○電子機器持込席の増設</p>	<p>○図書館におけるDXの推進(電子図書館、ICTを活用したサービス、デジタルアーカイブを活用したサービス等)</p> <p>○新たな情報発信</p>	<p>○教育現場では1人1台タブレットが浸透しているので、Wi-Fi環境も含め子供達がタブレットを利用できる環境があるといい。</p> <p>○Wi-Fi環境の整備については、生涯学習センター全体での検討が必要。</p> <p>○ビジネス本等を電子書籍でスピーディーにリアルタイムに待ちなく読めるといい</p> <p>○所蔵している浮世絵・絵葉書・写真を紹介・活用できるといい。</p> <p>○新しい技術を活用してサービスの質を上げる研究(DXの研究)が必要。</p> <p>○図書館専用の情報発信を強化するといい。</p> <p>○中央図書館で実施している事業のアナウンスがあると学校でも紹介できる。</p>
	<p>○相談しやすいカウンターの整備</p>	<p>○ICTを活用したレファレンスの充実</p> <p>○職員の育成(研修)</p>	<p>○カウンターを一つにした方がわかりやすい。</p> <p>○話しかけづらくコミュニケーションを期待していない雰囲気。</p> <p>○日替わり・月替わりの区民図書委員がいてもいい。</p>
	<p>○本に親しめる魅力ある書架及び特集コーナーの整備</p>	<p>○関心を引く本の配架・展示の工夫</p>	<p>○表紙を見せるディスプレイ・分野等のテーマでミニ展示を実施。</p> <p>○棚の周辺に作家の情報や各分野のニュースなどがあってもいい。</p>
	<p>○バリアフリーコーナーの拡充</p>	<p>○利用しやすいサービス内容</p>	<p>○聴覚障害者向けの館内案内や相談を手話などで受け付けるサービスがあるといい。</p> <p>○「だれでもトイレ」の利用状況がわかる電子案内板の設置</p>
	<p>○子供たちがわくわくする楽しい環境整備</p> <p>○本を読み合える賑やかな雰囲気の創出</p>	<p>○本との出会いをサポート</p>	<p>○賑やかにできる日や雰囲気を創出できるといい。</p> <p>○面陳を増やすといい。</p>
<p>「人」と「人」をつなぐ</p> <p>交流できる図書館</p>	<p>○グループによる活発な話し合いや学習ができる空間の整備</p> <p>○グリーンコーナー(中高生コーナー)の充実</p>	<p>○利用率向上の方策</p> <p>○対象者や利用方法の検討</p> <p>○グリーンコーナーの魅力向上</p>	<p>○Wi-Fi環境や共同学習スペース等の物理的な環境が図書館で整っていれば、皆で勉強しようとする子供達も出てくるのではないかな。</p> <p>○小学生用の勉強ができる席を拡充してほしい。</p>
	<p>○図書館イベントができる空間の整備</p>	<p>○各ターゲットに合わせたイベントの実施</p> <p>○高校生や大学生等による企画など、利用者協働による運営</p> <p>○事業を企画し運営できる職員の育成(研修)</p>	<p>○以下のようなイベントを実施するといい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定のテーマについて図書館資料や現地訪問により調べたことを発表 ・区民の異業種交流会や企業支援などのイベント ・台東区の歴史・文化に親しめるイベントの開催(区民が書いた台東区の歴史や文化に係る図書の感想文を掲載・浮世絵や絵画の模写等) ・ビブリオバトル・大人の読書感想文・読書会・本の探偵・レファレンス利用体験 ・浮世絵・絵葉書・写真の紹介 ・学校と連携した郷土学習や職場体験の支援サービス <p>○運営については、利用者協働の視点を取り入れるといい。</p> <p>○年相応の読書推進の補助施策が必要。</p>
	<p>○「おはなしのへや」を居心地の良い空間に整備</p>	<p>○定期的なイベントの実施</p>	<p>○おはなしの部屋は、周りを気にせず声を出して本を読んだり話したりできるスペースになるといい。</p> <p>○賑やかにできる日や雰囲気を創出できるといい。</p> <p>○自由にくつろげるマットレス等を整備するといい。</p>